

## はじめに ～プラン策定にあたって～

わが国は、かつてどの国も経験したことのないスピードで高齢化が進んでおり、本市においても、介護保険制度がスタートした 2000 年に 17.9%であった高齢化率は 2017 年には 27.8%と 10 ポイント上昇し、4人に1以上が高齢者となっています。8年後の 2025 年には いわゆる団塊の世代の方がすべて 75 歳以上となることに加え、一人暮らし高齢者も更に増えることから、医療や介護、生活支援などのニーズがますます高まることが想定されます。一方で、公的介護保険や医療保険など社会保障制度については、少子高齢化等に伴い年々増加している利用者負担や公費負担に対して、将来にわたって制度を維持していくための様々な改正・見直しが行われているところです。

医療の高度化や衛生環境の向上などにより平均寿命が伸び、いまや人生 100 年時代ともいわれるなか、介護予防や健康づくりに取り組むことで健康寿命を伸ばし、生きがいをもちながら自分らしい暮らしを少しでも長く続けていくことがますます大切になります。市ではそうした暮らしを実現するために、医療、介護、福祉、介護予防・生活支援、住まいなどのサービス・支援を、身近なところで一体的に受けられる「地域包括ケアシステム」の構築に向けて取り組んでおります。このたび、その取組を更に深化・推進するため「いきいきシニアこまつ推進プラン」を策定いたしました。

前回のプランで目標として設定しました「いきいきシニア率」（75 歳以上で要介護認定を受けていない方の割合）につきましても 66.0%から 68.0%と高まりつつありますが、2025 年の 75%達成に向けて、引き続き取り組んでまいります。近年 地域コミュニティの希薄化が叫ばれておりますが、本市には先人から受け継がれてきた市民力と共創の心が根付いております。これからも市民、地域、事業者の皆様とともに、様々な課題に取り組み、一人ひとりが いきいき・はつらつと輝ける未来を切り開いていきたいと考えておりますので、引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。

結びに、本プランの策定にあたっては、小松市介護保険事業計画等策定委員会での審議をはじめ、地域ケア会議における専門職等との活発な意見交換、アンケートなどを通じた市民や事業者の皆様からのご意見ご提言、そのほか様々な地域の声を元に策定いたしました。ここにご協力いただきました皆様にお礼を申し上げます。

平成 30 年 3 月

小松市長 和田 慎司